



関東全会つなぐ対面式大会復活

刈屋会員、当会救護活動実績を周知

第 45 回関東学術大会栃木大会が 3 月 9 日、栃木県総合文化センターで開催された。前日の夕刻から降雪があったため天候が心配されたが、寒さが残ったものの見事な快晴になった。

大ホールでは、午前中に新上三川病院院長の大上仁志先生の特別講演があり「日常診療の腰痛の注意点」と題し、1 時間 30 分お話しいただいた。



症例を交えての講演となったが、初診時の問診・視診・徒手検査・神経症状の有無を診ることの重要性を説かれた。また、完全な安静の指導は回復を遅らせることが多く、痛みに合わせて運動させたほうが良いとのことだ。

脊柱管狭窄症や圧迫骨折に対しては、痛みを取ることを中心に考えて、極力手術はしない方針だそうで、これは柔道整復師へのエールとも聞こえた。明日からすぐ使える腰痛診療のノウハウが凝縮した講演だったので、参加できなかった会員は残念だったろうと感じた。

日整の学術教育部からのお知らせを挟んで、午後から各県代表の研究発表が行われた。最後の第 7 発表では

栃木県代表の刈屋翼会員が登壇し「男体山登拝祭救護の実態調査及びアウトドアアクティビティの柔道整復師の役割」について、長期間集積したデータをもとに発表した。

閉会式では、次回開催県の埼玉県柔道整復師会の大河原晃会長が閉会の辞を述べて散会となった。

益社団法人日本柔道整復師会 関東学術大会栃木大会



刈屋会員のご家族も応援のためにかけつけました

今回の栃木大会は、平成 30 年度の茨城大会以来 6 年ぶりの完全対面式となった。2 回の中止と 3 回の対面・WEB のハイブリッド開催を経ての完全復活となったが、そのブランクもあってか出席者は 522 人と少なく残念だった。しかし、私の知る限り、これまでの関東学術大会の中で最も成功した大会だったと思われる。

大会のスムーズな運営・接遇は多くの来県した会員に絶賛された。大会運営に尽力していただいた理事・各部門に感謝するとともに、多忙なかで 1 年間コツコツと準備作業をしていただいた事務局職員に敬意を表する。

また、大会前日には宇都宮東武ホテルグランデにおいて今大会の開会式が行われ、福田富一知事・佐藤栄一宇都宮市長をはじめ、多くの国会議員・県議会議員を来賓にお迎えするなかで、(公社) 日本柔道整復師会の長尾淳彦会長が開会宣言を行った。

さらに、開会式前の午後 5 時から 45 分間「日整との意見交換会」が開かれ、各県から日整の執行部の動向に

に対する質問や意見が交わされた。しかし、業界の現況に対する明確な回答が得られなかったため、日整執行部の対応に業を煮やした当会の鈴木保険部長が立ち上がり発言した。

その内容を要約すると以下のとおりだ。

「昨今は、健保組合からの返戻や不支給のほか、悪質な患者照会も増えている。そのため、真面目に仕事をしている会員は苦しい思いをしているし、懸命に仕事をしていても幸せを感じていない。日整は、厚労省や健保組合と折衝を繰り返し、信頼関係を構築していると言うが、会員の生活は日々困窮している。今、現在も退会や閉院せざるを得ない状況の会員もいる。正直者が馬鹿を見る事態は改めなくてはならない」と的確な意見を述べたあと「日整の対応が遅い」と一喝して、場の空気を引き締め、出席者からは大きな拍手が沸き起こった。

学術部副部長 野澤哲男

“匠・岡本”は水を得た魚 匠の技ワークショップ

今回の関東学術大会栃木大会には、大会プログラムの中にワークショップ「匠の技伝承プロジェクト」が設けられ、肩甲上腕関節脱臼の整復法・固定法・超音波観察法が行われた。

「匠の技伝承プロジェクト」の趣旨は、骨折・脱臼の施術経験の少ない会員への技術指導のために行われる。そのため、指導する講師たちは「基本技術と考え方指導」の平準化を目指し、日整会館での講習や試験、柔整師会館ではオンライン講習を受け、技術の習得に邁進している。当会では岡本学術副部長・館同副部長・高橋・鈴木同部員が本大会に臨んだ。

大会前日からベッド・椅子・衛生材料やエコーの設置などの準備に当たり、(株)SSBの協力を得ながら入念にエコーの動作とプロジェクターの位置を確認した。

ワークショップの講師には、日本柔道整復師会学術教育部から、山口登一郎先生（整復実技）、小野博道先生（超音波実技）に来ていただいたが、当日は指導補助を務められ、当会の岡本学術副部長が中心となり実技指導を行った。

実技では、肩甲上腕関節脱臼の整復法で、ヒポクラテス法・ドナヒュー法について注意事項や説明を交えながら行い、その後固定法を行った。

開始当初は参加者も少なかったが、実技指導が始まる

と会場にたくさんの参加者が集まっており、真剣な表情で一つ一つの操作を確認していた。



●ヒポクラテス法のポイント

- ①患肢を把持する際にあまり強く握ってしまうと不安をあおる。
- ②腋窩に足を当てるときは足底ではなく足部外側を当てるようにして肋骨損傷を防ぐ。
- ③末梢牽引は急激な操作ではなく外転外旋を加えながら徐々に行う。
- ④内転内旋は大きく動かし同時に足部で骨頭を支え押すように操作する。
- ⑤整復が完了したならば弾発性固定が解除されているかを確認する。

●ドナヒュー法のポイント

- ①自然整復できない場合は、術者が患者の肘関節を90度にして自身の体重をかけて整復する。

●固定法のポイント

- ①腋窩の圧迫予防のため腋窩枕子を入れる。
- ②厚紙副子を関節前後にあてがう。
- ③麦穂帯を用いて屈曲内旋位を保つように固定（速やかに均等の圧力で見た目に美しい状態）。
- ④三角巾は伸びる側、伸びない側に注意して伸びない側を体側にして、結び目は頸椎棘突起に当たらないようにずらして結ぶ。

これらのことに注意して体験希望者に実技の練習をしてもらったが、整復固定をしたことがない参加者が多く、各ベッドについて講師が丁寧に説明をしながら整復・固定の練習を行った。

整復操作も口で伝えるのが難しいときには、参加者自らがモデルになり、整復操作を受けるととても分かりやすいようであった。

固定についても同様に一連の操作を練習していたが、

経験のない参加者は固定の難しさに苦戦していた。

続いて超音波観察法のデモンストレーションが行われ、肩関節の描出と読影を主に行った。

前方操作では、プローブは短軸走査で烏口突起から始まり、小結節、大結節、結節間溝、二頭筋長頭腱、横靭帯を描出。上方操作では、前額面に対してプローブは約45度長軸走査で肩峰、大結節、棘上筋を描出。後方操作もあったが今回は時間の都合で省略した。

参加者による観察法の練習では、プローブの持ち方、モニターへの映り方（右左の位置関係）、短軸・長軸走査など基本的なことから指導した。

初心者や使用頻度の少ない会員がほとんどだったため、烏口突起・肩峰・烏口肩峰靭帯、小結節・大結節・結節間溝・二頭筋長頭腱の描出を教えながらやってもらったが、入射角やピボット操作が難しいようであった。参加者からは「解剖を改めて勉強する必要がある」との声があった。

今大会の匠の技伝承プロジェクト・ワークショップでは、開催県の匠の技担当者が講師を務めるなど日整では初めての試みであったが山口先生や小野先生からも称賛を受け、大成功に終わった。

学術部 高橋秀典

学術部からのお知らせ

笹沼秀幸先生の勤務先です

- とちぎメディカルセンターしもつが
月曜日 午前・午後 / 水曜日 午後
- 石橋総合病院
金曜日 午後
- 自治医科大学附属病院
第2火曜日 午後
第4火曜日 午後



事業部からのお知らせ

令和7年度の第41回公益社団法人栃木県柔道整復師会柔道大会は7月6日(日)、ユウケイ武道館にて開催となります。

会員の皆様のご協力をお願いいたします。



保険関係



Q 患者照会の結果、施術内容について患者との見解の相違があるとのことで返戻があり、「痛みを伴った状況に応じて、（患者が）丁寧な説明を受けながら、記憶の錯誤が生じた原因についてご教示願います」とありましたが、どのように対処すればよいでしょうか？

A 最近、このような確認の質問が多くみられます。これは、協定書・確約書にある「施術に当たっては、懇切丁寧を旨とし、患者の治療上必要な事項は理解しやすいように指導すること＝施術の方針 25（1）＝」を引用し、保険者は「懇切丁寧な理解しやすい指導」を行っていれば相違はないはずだろうとの見解をもとに説明を求めているものと思われます。

そもそも患者照会については、国保・後期高齢・全国健康保険協会・健康保険組合に対し厚労省から適切な照会をするように通知が出ています。

照会の手法にも、施術後に照会をするに当たり相当期間が経過すると、被保険者や受療者本人の記憶が曖昧になり、照会の意義が薄れることから「適切な時期に実施すること」と記載されています。

記憶が曖昧で事実確認ができないために、支給申請書と被保険者などからの回答不一致で不支給をしているケースもあります。

このような患者照会などに関しては、個別に対応せず、必ず当会事務局または保険部に連絡してください。

不適切な事例を1件でも多く収集、精査したうえで厚労省へ適正化を求めていますので、会員の皆様のご協力をお願いいたします。

連絡先は保険部長・鈴木 y-s-1161@cameo.plala.or.jp です。その際には返戻、患者照会文書などのデータを送信してください。

川 柳

塩谷支部 船橋 仁和

曖昧な態度が敵を作らない
過ぎ去った過去がなかなか消化せず
少しでも希望を持てば運が寄り

議決権行使は棄権せずに

令和7年度公益社団法人栃木県柔道整復師会通常総会が5月25日、宇都宮市コンセーレ（栃木県青年会館）中会議室で行われます。

議決はすべて議決権行使書（書面表決ハガキ）にて行います（総会に出席できない会員も議決権行使は可能です）。

方法は、①期日までに郵送 ②当会館にある「議決権行使書投入箱」に直接投函 ③総会当日会場に持参、の3方法があります。①～③のいずれかで行ってください。

表決の委任は可能ですが、委任欄が不備もしくは被委任者が総会に欠席した場合は無効票となりますので、できるだけご自身の意思で提出してください。

事前表決受付期間 5月17日～23日午後6時

公正な選挙に向けて

通常総会にて行われる役員選挙に先立ち、選挙を運営する第1回選挙管理委員会が4月4日、当会館会議室で開催されました。

【協議事項】

1. 選挙管理委員会の設置について
2. 日程確認について
3. 選挙公報について
4. 投票に関する通知文について
5. 投票用紙について

委員は例年どおり9支部の各支部長となり、委員長は小椋宇都宮支部長、副委員長は鳩山栃木支部長・高村足利支部長が選出されました。

選挙管理委員会は、選挙公報作成や投票用紙の確認、投票箱設置など、投開票に係る日程や作業工程を協議し、公正な選挙が行われるために運営されます。

理事・監事立候補届の受付は4月21日から24日までで、各立候補者が選挙公報、所信表明文、立候補届・立会人届を提出しました。

役員選挙の書面表決投票日は5月17日(土)から23日(金)18:00まで、郵送または当会館事務局内の投票箱に投函のこと。

My Box 支部リレー投稿

第253走者 鹿沼支部 藤田好美

道の駅スタンプラリー



足掛け4年、2017年に関東「道の駅」スタンプラリー全148駅を制覇しました。

「バイクで行く」「地元メシを食べる」をマイルールに決め完走したのですが、出発前にプランを練っている時も楽

しいものです。何時に出て、どこを廻り、この道の駅はスタンプがオープン前にも押せるとか（基本営業時間内）、ここまで来たら、ここは観光しなきゃとか、時間的にもう一度この辺りに来ないとクリアできないなど。

しかし、完走した感激もありましたが、試練と忍耐が必要なので、二度とやらないと思っていました。



ところが2021年、根っからのライダー魂に再び火が付き、東北「道の駅」スタンプラリーを始めました。現在80駅をクリアしていますが、日帰りできる距離でもなく、あと何年かかるのか…。

青森県下北半島は手強かったです。ケツ痛・睡魔との闘いのなか、1泊3日で2,000kmを完走しました。

今月はS・S・T・R（サンライズ・サンセット・ツーリング・ラリー）にも参加する予定です。日の出から日没までに太平洋側の海岸線から日本海の千里浜なぎさドライブウェイ（石川県羽咋市）に、決められたチェックポイントを通しゴールするだけという単純なルールですが、能登半島復興支援を兼ねた日本最大級のツーリングラリーイベントです。

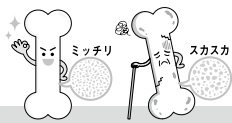
健康寿命は短いし、やれるときにやりましょう。

Enjoy yourself

次回は宇都宮支部にバトンタッチです。

栃木支部だより

骨密度って おもしろい!



私の地元、栃木市では「身体障害児者親の会」というボランティア団体があります。ここでは親子学習会を定期的に行っていますが、今回は親御さんたちのために骨密度測定と健康相談を行ってきました（2月15日、栃木市保健福祉センター）。



まずは骨密度測定から。皆さん測定結果に一喜一憂。ただ「さすが」というか、普段から多動の子どもたちに付き添っていたり、大きくなった子どもたちの介護に体を使っているためか、結果の良い方が多くおられました。

その後の健康相談では、介護疲れなのか筋疲労を抱えた方が多く、健康相談ではなく施術がメインになってしまいましたが、きちんと運動の指導も行いました。1分間開眼片足立ち・スクワット・壁に手をついた形の腕立てと、普段から簡単にできる運動をしっかりと叩き込めました。私を含め、障害を持つ子どもたちのために元気に長生きしないといけませんから。

親の会に入って30年以上、もう他界してしまった子どもたちや仲間もいます。他人とはいえ、ずっと成長を見てきた子どもたち。それぞれ個性があって皆が可愛い子どもたちです。



親御さんたちから「また何回かお願いする」と言われました。健康寿命を延ばすために、せっかくの知識を役立てていきたいと思っています。

栃木支部 丸山佳洋

もののふコラム

庶民のための改革者 年金制度の始まり



保科正之（1611-1673）は水戸藩主徳川光圀、岡山藩主池田光政と並び、江戸初期の三名君と称される。

徳川秀忠の四男で3代将軍家光の異母弟。庶子

であるため、信濃の高遠藩保科正光の養子として養育され、正光の死後、正之は高遠藩を継ぎ肥後守と称した。

2代将軍秀忠が亡くなると、家光は有能な正之に山形藩20万石を与えた。正之の善政を知る領民3,000人が、正之の後を追って高遠から山形に移り住んだといわれる。

1643年、正之は陸奥会津藩23万石の大名に引き立てられ、初代会津藩主となる。

家光からの「肥後よ、徳川宗家を頼みおく」との遺言に感銘し「会津家訓十五箇条」を定め、幕府に忠誠を誓った。以降、会津藩はこの遺訓を固く守り続け、結果的に佐幕派の中心的存在となり、幕末の藩主松平容保は最後まで官軍と戦うことになる。

家光の死後、正之は4代将軍家綱を補佐し、文治政治を進めた。明暦の大火の際には、焼け落ちた江戸城天守閣の再建計画に「天守は実用的な意味がなく、無駄な出費は避けるべき」と主張し、幕府の蓄財で庶民のために主要道の拡幅や上野広小路を設置し、大規模防災対策を講じた。以後、江戸城に天守が築かれることはなかった。

会津藩政にも力を注ぎ、産業の育成と振興に尽力、好学尚武の藩風を作り、藩校日新館の原型となる稽古堂を開設。また、90歳以上の老人には終生一人扶持（1日当たり玄米5合）を支給した。これは日本の年金制度の始まりといわれている。世界で初めて年金制度を創設したのはドイツのビスマルクといわれているが、それより200年も早かった。

正之は幕府から徳川氏本流の松平姓を名乗るよう勧められたが、養育してくれた保科家への恩義から生涯保科姓を通した。

不識院後光守

2025 (令和7年)

行事予定

※とちのきクリニック
の受付は 9:30~
11:30です

5月

- 8日(木) 療養費支給申請書必着日
- 11日(日) 10:00 とちのきクリニック 飯島医師・高野・星野登・大木
- 13日(火) 20:00 とちのき編集会議 小森・古内・藤田
- 16日(金) 20:30 予備点検 [当会館] 理事・監事・支部長
- 20日(火) 14:00 労災審査 [当会館]
- 20:00 とちのき校正会議 小森・藤田・加藤
- 23日(金) 10:00 協会けんぽ審査会 [とちぎ福祉プラザ]
- 10:00 国保審査会 [国保連合会902号室]
- 25日(日) 9:30 理事会(支部長参加) [コンセーレ栃木県青年会館]
- 10:00 とちのきクリニック 須田医師・館・星野訓・小林
- 10:45 令和7年度通常総会 [コンセーレ栃木県青年会館]
- 27日(火) 20:30 IT委員会 [当会館] 小森・植木
- 28日(水) 20:00 協同組合総代会 [当会館]

6月

- 1日(日) 10:00 とちのきクリニック 須田医師・高野・大井・小林
- 8日(日) 療養費支給申請書必着日
- 12日(木) 20:00 とちのき編集会議 小森・加藤・小野塚
- 13日(金) 20:00 理事会 [WEB会議]
- 15日(日) 10:00 とちのきクリニック 飯島医師・岡本・高橋・大木
- 17日(火) 20:30 予備点検 [当会館] 理事・監事・支部長
- 20日(金) 20:00 とちのき校正会議 小森・小野塚・大関
- 24日(火) 14:00 労災審査 [当会館]
- 20:30 IT委員会 [当会館] 小森・松山
- 25日(水) 10:00 国保審査会 [国保連合会902号室]
- 27日(金) 10:00 協会けんぽ審査会 [とちぎ福祉プラザ]

(変更や追加などはホームページをご覧ください)

編集後記



ソメイヨシノは花の咲き方も特殊で、春になったら芽が出るのではなく、秋に「花の芽」が準備され、冬に「冷やされて」から目覚める。これを「休眠打破」というそうです。

つまり、ちゃんと冬の寒さを経験してこそ、一斉に花を咲かせられるのです。

ん〜あやかりましょう！

ロングマン

information

お知らせ

会員数

令和7年4月1日現在

会員数

研修柔道整復師

施術所数

351名

9名

334院



会員の異動状況報告

(研)・・・研修柔道整復師

- ・宇柔整258 熊倉 悟 帝京豊郷台接骨院
〒320-0003 宇都宮市豊郷台1-1
☎028-627-5522 令和7年4月1日 入会
- ・宇柔整259 大嶋 宏徳 宇都宮おおしま鍼灸整骨院
〒320-0856 宇都宮市砥上町1137-5
☎028-648-8024 令和7年4月1日 入会
- ・宇柔整42 大嶋 政夫 おおしま鍼灸整骨院→
宇柔整259 大嶋 宏徳 宇都宮おおしま鍼灸整骨院
〒320-0856 宇都宮市砥上町1137-5
☎028-648-8024 令和7年4月1日 院主変更
- ・宇柔整229 前川 和人→宇柔整258 熊倉 悟
帝京豊郷台接骨院
〒320-0003 宇都宮市豊郷台1-1
☎028-627-5522 令和7年4月1日 院主変更
- ・宇柔整42 大嶋政夫 令和7年3月31日 退会
- ・宇柔整187 倉持直人 令和7年3月31日 退会
- ・宇柔整229 前川和人 令和7年3月31日 退会
- ・栃柔整10 芝崎光久 令和7年3月31日 退会
- ・佐柔整16 栗田恵造 令和7年3月31日 退会
- ・鹿柔整60 長坂憲一 令和7年3月31日 退会
- ・芳柔整24 秋山利明 令和7年3月31日 退会
- ・塩柔整17 鈴木フミ 令和7年3月31日 退会
- ・那柔整5 本田忠男 令和7年3月31日 退会
- ・那柔整39 小西恵一 令和7年3月31日 退会

訃報

足利支部 山口 貴典 会員のご母堂様
(延子 様 81歳) がご逝去されました。
謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

ご会葬御礼

過日は、ご多忙中にもかかわらず、会員の皆様にはご会葬を賜り誠にありがとうございました。
足利支部 山口 貴典

ニューフェイス

①生年月日 ②施術所名 ③施術所住所
④TEL ⑤出身校
⑥趣味 ⑦抱負

くまくら きとる
熊倉 悟 宇都宮支部(令和7年4月1日入会)

- ①平成2年7月9日 ②帝京豊郷台接骨院
- ③宇都宮市豊郷台1-1 ④028-627-5522
- ⑤帝京大学 ⑥ドライブ
- ⑦地域医療に貢献できるよう全力を尽くします。



ニューフェイス

①生年月日 ②施術所名 ③施術所住所
④TEL ⑤出身校
⑥趣味 ⑦抱負

おおしまひろのり
大嶋宏徳 宇都宮支部(令和7年4月1日入会)

- ①昭和60年3月27日 ②宇都宮おおしま鍼灸整骨院
- ③宇都宮市砥上町1137-5 ④028-648-8024
- ⑤日体柔整専門学校 ⑥スキューバダイビング
- ⑦諸先輩方が築き上げてきた信頼をしっかりと繋いでいけるよう地域貢献していきたいと思っています。

